

科学が好きな子どもを育てる教育実践・計画を募集する「ソニー子ども科学教育プログラム」
全国 193 校の小・中学校より選ばれた最優秀校

研究成果を発表する「子ども科学教育研究全国大会」開催 6月27日(金) 長野県諏訪市立中洲小学校

公開授業などを通じ県内外の教育関係者に向けて独自の教育指導法を公開

記念講演： 小山靖弘氏（NHK エンタープライズ自然番組ディレクター）

後援： 文部科学省、長野県教育委員会、長野県小中学校校長会 ほか

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 中鉢良治)は、2013 年度「ソニー子ども科学教育プログラム」で「最優秀校」に選ばれた長野県諏訪市立中洲小学校(校長：一ノ瀬浩子/長野県)にて、「子ども科学教育研究全国大会」を開催します。

「ソニー子ども科学教育プログラム」は、ソニー創業者の井深大により 1959 年に始められ、教育・社会の変化に伴い形を進化させながら、54 年にわたり継続している科学教育の振興支援活動です。「科学が好きな子どもを育てる」教育実践と計画の論文を小・中学校より募集、斯界を代表する方々の審査により、優れた学校を表彰します。これまでに 11,000 校を超える応募があり、教育資金贈呈などの支援をしています。

最優秀校では、広く研究成果を発表する場として「子ども科学教育研究全国大会」を開催。全国から 500 名以上の教育関係者が大会を訪れます。今回、「全国大会」(研究発表)を行う長野県諏訪市立中洲小学校は、2013 年に全国の小・中学校よりご応募いただいた 193 校の中から選出され、本プログラムの審査委員長である御手洗康氏(元文部科学事務次官)などによる書類審査、現地調査および最終審査を経て「最優秀」を受賞。今まで実践してきた取り組みや成果について、公開授業などを通じて先生方を中心とする教育関係者にご紹介いたします。

記念講演には、「NHK スペシャル」の話題作である「世界初撮影！深海の超巨大イカ」を 10 年に渡りご担当された NHK エンタープライズ自然番組ディレクター、小山靖弘氏が登壇予定です。

「ソニー子ども科学教育プログラム」最優秀校 全国大会(研究発表) 開催概要

長野県諏訪市立中洲小学校 (長野県諏訪市中洲 2372-1)

開催日時： 6月27日(金) 8:50~16:50

研究主題： 豊かな感性を磨き たくましい創造性を培う いのちの教育

内 容： 研究発表、各学年各教科での授業公開、
教師間の交流など

記念講演： 「世界初撮影！深海の超巨大イカ」の舞台裏

小山靖弘氏(NHK エンタープライズ自然番組ディレクター)

主催： 中洲小学校、ソニー教育財団、ソニー科学教育研究会

後援： 文部科学省、長野県教育委員会、長野県小中学校校長会ほか



※ 参加には事前申し込みが必要です。中洲小学校からのご案内は「第二次案内」をご覧ください。

http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/taikai/pdf/2014/2014_nakasu_2nd.pdf

※ 最優秀論文全文はホームページでお読みいただけます。

http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/science_2013/pdf/nakasu.pdf

「ソニー子ども科学教育プログラム」最優秀賞 論文

長野県諏訪市立中洲小学校

論文テーマ: 科学する心を育む「中洲教育」2013 豊かな感性を育むいのちの教育
- 自分らしさを発揮しながら対象(自然事象)に近づいていく子ども -

論文全文 (http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/science_2013/pdf/nakasu.pdf)

【審査講評】

中洲小学校の取り組みは、自分らしさを発揮しながら主に野外の自然とふれあい、「いのち」に迫りながら、理科・生活科を中心に総合的な学習の時間やものづくり科など、学校全体で活動が展開されていました。授業はどれも充実した内容であり、地域性を生かした生活科学習(蚕など)では、教師が、学習活動での子どもの思いや願いを丁寧に見取って支援を行っていました。4年生の栽培活動では、種まきから収穫まで長期に渡って、教師が子どもに寄り添って、驚きや発見を認めながら観察してきた様子が手にとるようにわかりました。どの活動も、教師の姿勢が子どもたちの生き生きとした活動を引き出していると感じました。

今年度報告いただいた実践は、生物分野に焦点化されていますが、これまで幅広い実践を着実に重ねてきた中洲小学校だからこそ行き着いたものです。また、感性にふれる取り組みに限らず科学に親しむ活動が、家庭・地域と一体となっていることも注目すべきところです。こうした子ども一人一人の確かな学びと変容を目指した「豊かな感性をはぐくむ」ための取り組みは、大変優れたものであり他校の参考になるものと判断しました。

■ソニー子ども科学教育プログラムとは

「科学が好きな子どもを育てる」を主題に、理科や生活科を中心とした教育の「実践」と「計画」を募集しています。毎年、約200校の全国の小学校・中学校から、学校での取り組みを論文にまとめてご応募いただいています。元文部科学事務次官の御手洗康氏などにより、実践、考察・評価、次年度計画について審査します。予備審査・中間審査を経て、最優秀校など上位の入選候補校に関しては現地調査も行います。上位入選校は翌年、計画の実践とともに、全国の教育現場でその成果を共有できるよう、「子ども科学教育研究全国大会」を含む、主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。

詳しくは、ホームページをご覧ください: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/guide/science.html>

■ソニー教育財団について

ソニー創業者の井深大は、その設立趣意書の中で「国民科学知識の実際的啓発活動」を目標に掲げています。日本の将来の発展を支える子どもたちが科学に関心をもち、科学を好きになるには、小・中学校における理科教育が最も重要であると考え、1959年に「ソニー理科教育振興資金」の贈呈事業を始めました。この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立。2000年には子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。これまでに延べ11,000校を超える応募があり、教育資金を贈呈するなど、子どもたちの教育に創造的、先駆的な取り組みを行っている全国の小・中学校や先生方を支援してきました。

一方で、井深大は「人間の能力は“環境”によって作られる」との考えから、幼児教育の大切さを訴え、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立し、その研究と実践を推進しました。2001年には2つの財団を統合して「財団法人 ソニー教育財団」を設立。2011年より「公益財団法人 ソニー教育財団」に移行し、今日に至ります。



ソニー創業者 井深大

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ホームページ: <http://www.sony-ef.or.jp/>

公式フェイスブック: <https://www.facebook.com/SonyEducationFoundation>